

報 告 書

開催日時	平成 27 年 10 月 15 日 (木) 19 : 00 ~ 21 : 05	
開催場所	天瀬公民館	
出席議員	(3 班) 大谷・飯田・古田・安達・渡辺	
	班 長	飯田
	司 会 者	安達
	記 録 者	渡辺
参加人数	41 名	
主な要望 ・ 提 言 等	<p>○A氏</p> <p>1、1-②の地方創生で林業の専門機関とは、どんな内容の機関なのか。大分県では日田と佐伯が手を挙げてると聞いたが、全国では、どの位の自治体が手を挙げているのか。知ったら教えていただきたい。</p> <p>2、2-⑤で商工会・商工会議所と言っていたが、日田地区商工会もあるので、お忘れなく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>今現在は、把握してないので申し訳ない。わかり次第お伝えする。 日田地区商工会も存じ上げている。</p></div>	
	<p>○B氏</p> <p>1、1-①農林業の新規就農者対策は国・県の方策だけでは、なかなか集まらないと思うが、日田独自の方策は無いのか。後継者不足に対して子供世代はもう無理。私達は孫を呼び寄せて頑張りたいが、そうした対策を日田独自で案を作らないと地方創生にはならないと思うが。</p> <p>2、好景気の際は林業をやってる人達は農業もやっていたが、現在では木を切っても市場に出しても儲からないから後継者は育たない。山林所有者にも利益が出る様な方策を取ってもらいたい。</p> <p>3、日田の林業は、山林所有者が市外の人が多く、木を切っても儲けが無いから山の下刈等をしないため、山が荒れて、川も荒れる悪循環が続いている。この事を誰に言ってもいいのかわからないし、市内の山林所有者はどうしたらいいのか現状を考えた方策を打ち出して欲しい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>新規就農者対策は、国・県・市で色々あるが、後継者対策は、まだまだ足りないと思う。これから行政に働きかけて行く。山林所有者の件は、持ち帰り議論する。</p></div>	

○C、D氏

- 1、2-⑥で観光と農林業をどの様にしてリンクさせていくのか。
全国に情報発信をどんな手法でやっていくのか、ITの利用だけで良いのか。
- 2、伝統文化が、市外だけじゃなく市内の人にも伝わっていない天ヶ瀬には「くんち」が、本城を皮切りに各地区である。市内の人達に、もっと周知していただきたい。日田のホームページは、検索が難しので分かり易くしていただきたい。徳島の「葉っぱビジネス」はWi-Fiの導入で、年寄りでも簡単に出来ると聞いている。日田市も早く導してもらいたい。

基本はホームページになるが、それだけでは足りないので、今若者が良く見るFacebook等で発信する様に、市の方も頑張っている。今日そのFacebookが立ち上がった。皆様もぜひ見ていただきたい。Wi-Fiの導入は、議会としても早く導入する様働きかけているが、最初は観光中心になると思う。市内の人達への周知のやり方は、議会として取り組んで行く。

○E氏

- 1、この取組内容は全部やれるのか。特に3-①若い世代の結婚・出産は大事なことである。出会いの場を創っていただきたい。

婚活は青年会議所等でやってはいるが、足りてないので、市として出来ないか提案する。

- 2、4-④（一体的な環境対策）「水と緑と空を大切に」条例化すれば良いのではないか。
地区と呼ばれる地域は高齢化が進み、どうにかしたいけど、どうしていいか分からない。市に地区担当の特別な課をつくってもらえないか。

全国的に少子高齢化が問題である。市に特別な課をつくるのは良い事だと思うので、議会として提案する。

○F氏

- 1、2-④（高校卒業後、帰郷しない）で、全国的に人口減少は、中心都市部を除いた各自治体悩みの種であろうが、日田は高校卒業後、大学は市・県外へ出て学ぶ。子供が日田に帰って、就職したくてもできないのでは、人口減少に歯止めはきかない。企業誘致は難しいのは分かっているが、なんとか頑張って、若者が魅力を感じる企業誘致に取り組んで欲しい。

市にも、企業立地推進室があるが、なかなか難しく、国・県との連携で誘致活動を進めて行きたい。また、既存の中小の企業に中小企業支援センターの専門のスタッフを常駐させて、中小企業の極め細やかなバックアップ等を行い、そこでの雇用増大にも繋げたいと思っている。先日、バネ工業会と話す機会があった時、仕事はあるが人が集まらないと言っていた。希望者とのマッチングが課題だと思う。

○G氏

1、先日、観光地のトイレに入ったら洋式トイレが1つも無かった。

こんな事で外国人観光客を呼べるのか。私達が住みたい町じゃないと人は寄らない。

トイレの整備等は、おしゃるとおりで、議会として市に投げかけて行く。最低賃金を上げる事は、雇い主との絡みがあるので何とも言えないが、行政として取り組めるかを市に投げかけたい。

2、日田の企業に人が来ないのは、単に賃金が安いからだと思う。

最低賃金を上げないと優秀な人材は日田からどんどん逃げていく。私は介護の仕事をしているが、介護士が足りてない現状である。

3、4-③で、医療費の増大が懸念される中、介護の現場で働く人材も少ない状態なので健康寿命を延ばす方策を考えていただきたい。社会教育をやり直さないと大変な事になって行く。私は現場でつくづくそう思う。

議員達は、今、日田市に何軒の介護施設があり、何人くらいが働いているか把握出来ているか。私もハッキリとした数字を持ってるわけではないが、建設業より多いと思う。介護の仕事は、もう産業化しているので補助金等の見直しをお願いする。

介護福祉の仕事は大変なので、労働条件等少しでも働きやすい環境を整えられるよう、行政とタイアップして努力する。健康で介護いらずの町を目指して健康体操などの福祉事業を推進していく福祉教育を徹底させたい。

○H氏

1、副市長2人制についてであるが、市長の話をよく聞いて否決したのか。市長と議会が対立してるように見えるが、9月議会での議運の委員長への2回の動議はいかがなものか、無駄な時間にはならないか。

副市長2人制は総務環境委員会に付託された案件で、委員会の中でも賛否両論あった。賛成の理由として、県内を見ても2人制を取ってる自治体も多く、条例を変えるだけなら賛成であるなど。反対の理由は、市長は市民に説明責任を怠ってる。7月の市長選挙でも事あるごとに財政難を言ってきたのに、またその時でもこの事は一言も言わなかった等で、委員会でも本会議でも否決されました。議会と市長が対立してる訳ではない。

動議の件は、議運の委員長報告に不明な文言があった為で、無駄とは思っていない。

○I氏

1、自治基本・議会改革基本条例には期待していたが、副市長2人制は、この条例に抵触してる所がある。否決されて良かったが、この条例の中に、市長は市民に対して分かり易く説明するとある。議員も市民の声を聴取して、議会で議論する責任がある。議員1人1人にお尋ねだが、この件に関して市民の声をどうやって聞き判断したのか。

- ・ 私はこの議案に対して公聴会等したわけではないが、自分が聴ける範囲の市民は、ほぼ反対の意見が多く反対した。
- ・ 市長は市民に説明責任を果たしてない。議会で市長は3人体制で公共施設のPFI・PPPなどの民間委託に必要なと言ったが、そんな説明では市民は納得しないなどの理由で反対した。
- ・ 私は会派の中で反対の意見を出した。議会中だった為、時間がなく、公聴会など開いてないが、私の周りの市民からの電話等で聴く意見の90%以上が反対で、それを踏まえて反対したが、会派内で賛成多数になり、委員会・本会議とも賛成にまわった。
- ・ 何で副市長2人制が必要なのか、市長の説明では市民に説明責任を果たせてない。まだ行財政改革の道半ばで、私の周りには賛成する市民は1人もいなかった為反対した。
- ・ 副市長2人制に対して、私は議会でも市長にもっと市民が納得できるように説明すべきだと言ってきたが、時間もなく結論として、この問題を二つに分けて考えた。副市長2人制にする条例を変えるだけなら問題はないと思い賛成しました。

2、条例に抵触している。この条例は重い。出来ないのなら、制度も条例も見直して欲しい。作った以上、ちゃんと検証しチェックしていただきたい。予算についても条例で市民に分かり易く説明するとなっているが、行政用語で6ページの掲載だけでは、一般市民には分からない。もっと分かり易くまとめて冊子にして一世帯に1部配布して欲しい。議会でも作って出してほしい。

意見として、承る。

○J氏

1、医療難民・買物難民が増えている。天ヶ瀬温泉病院が移転する。移転先にはバス路線も無くて困っている。先日、市長と話す機会があり、スクールバスの活用は出来ないか尋ねたら、「ちょっと難し」と言われた。出張医療機関など、どこに相談したらよいか。

議会から行政に働きかけて行く。スクールバスは、今福祉に限られているが、今後、色んな方面で活用できるよう行政と話し合う。

○K氏

1、議員一団となって、色んな難題に取り組んで欲しい。一団となる為に 会派はなくしたらどうか。会派をつくる理由は何か。林業だけじゃなく、農業のほうも宜しくお願したい。

会派には会派規則等ある。会派内での勉強も出来るので、撤廃にはならない。農業もちゃんと見て行く。